日本共産党市議会議員　松村ヤス子　議員控え室　℡　6489-6070　メールアドレス　m-yasuko@cwa.bai.ne.jp
松村ヤス子のホームページ　http://cwaweb.bai.ne.jp/~m-yasuko/　　松村ヤス子で検索

貧困と格差の少ない社会めざし
今年もがんばります

日本共産党市会議員
松村ヤス子の議会報告

2010年1月

心新たに

昨年の市議選では、みなさまご支援により、5期目の議席を与えていただきました。

44人の議員の中では、経験も長いほうになりました。

民主党中心の新政権が誕生し、前進面はありますが、まだまだ多くの課題があります。

市民生活や市の財政は国政と強く関係しています。

市政でも国政でも、良いものはさらに前へ進め、良くないものには反対し、改善の提案を行っていきます。

これまで以上にみなさんの声をしっかりとお聞きし、調査・勉強を怠らず、心新たにがんばる決意です。

今年も、どうかよろしくお願いいたします。

党の政策委員長として

私は議員団でも、主に、政策委員長として活動してきました。現在は、尼崎の党の政策委員長の任務についています。

去年

県立塚口病院なくすな

「県立塚口病院の存続と充実を求める会」の設立に力を尽くし、8万人もの署名を集めることができました。

県は、7月にいきなり、尼崎病院に塚口病院を統合すると発表しましたが、市民運動の高まりにより、外部の識者や地元代表の意見も聞くとして「検討委員会」を設置しました。検討委員会の答申を受けて「新しい土地に統合した新しい病院を目指したい」という方向で、地元説明会を行いました。

まだまだ、具体的ではなく、根本的には、問題の解決になっていません。

新年度の新しい政治課題です。

子どもの無保険解消

国保料を滞納している家庭の子どもが医療を受けられない問題を調査し、議会で取り上げました。全国的にも大きな問題になり、中学生までだったのが、高校生まで、保険証がもらえるようになりました。

国はもっと国保にお金を

私は、国民健康保険について他都市を調査しました。尼崎市の国保料が阪神間で一番高く、しかも、子育て世帯など4人以上世帯では、5割以上の世帯が滞納です。

高すぎる国保料の引下げのために、国の負担を1984年以前の水準に戻すことを国に求めよと質問しました。（答弁はノー）

市バスの無料敬老パスまもれ！

9月・12月議会で質問しました。高齢者の敬老パスを有料化すると3割程度の高齢者が市バスに乗れなくなると、市も交通局も見込んでいます。

高齢者の乗車数が増えても、燃料など市バスの経営にかかわる経費は増えません。

今、市が市バス会計に出しているお金よりも少なくなっても市バスの経営はできると答弁しました。市バスが経営できる範囲のお金を出し、有料化しないようにと市長に求めました。（答弁はノー）

今の景気問題を大きな目で見ると、10年間で、労働者の賃金が、280兆円から253兆円に、27兆円、つまり1割も落ちています。

経済協力開発機構（OECD）の国の中で、これだけ給料が減った国は日本だけです。

一方、企業の内部留保が200兆円から400兆円になっています。そのうちの半分は、大企業がため込んでいます。

内部留保こそ最大の埋蔵金

大企業は正社員から非正規社員におきかえる。あるいは、リストラ、賃下げを行い、働いている人からどんどん吸い上げて溜め込んでいるのです。

新政権は、「埋蔵金・埋蔵金」といっていますが、このため込んだお金こそ、最大の「埋蔵金」です。

正規社員が当たり前の社会に、また、中小企業で働く人の最低賃金も1000円以上に引き上げることです。

日本中にお金がないのではありません
賃金減らし
増やし続ける内部留保
消費税でなく
力のある大企業や
高額所得者の減税もとに戻して

自治にもお金が

失業問題・貧困問題の深刻さは、市民生活をまもるべき市の財政をとても厳しくしています。

内部留保を貯め続けている大企業や鳩山さんのお母さんのような大株主への行き過ぎた減税をもとに戻せば、市民のくらしを支える自治体本来の仕事ができる財政も確保できるのです。

今年の7月には参議院議員選挙があります。

日本共産党へのご支援をよろしくお願いいたします。